



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
水産研究部水産支援グループ 担当：山中・辻村
TEL：072-495-5252 FAX：072-495-5600

プレスリリース

令和元年 7 月 25 日 14:00

大阪湾でトラフグ稚魚を放流！ ～トラフグの成長を調査しています～

大阪府では大阪湾の水産資源を増やすため、稚魚を育て放流する「栽培漁業」を推進しています。この度、栽培漁業センター※で育てたトラフグ稚魚の放流を下記の通り実施致します。

大阪府内で消費の多いトラフグは、昭和 40 年頃までは大阪湾内でも多く漁獲されていましたが、その後大きく減少し、現在は 100kg 程度の漁獲となっています。全国的にも天然のトラフグは減少傾向にあり、貴重な魚となっています。そのため、国や府県が連携してトラフグを増やす試みが各地で行われており、その一環として稚魚の放流が行われています。

大阪府でも平成 27 年度からトラフグを放流技術開発魚種として位置づけ、当研究所と栽培漁業センターが共同で卵から稚魚を育て、大阪湾内に放流してきました。今年度もトラフグの稚魚を放流できるサイズまで順調に育てることができ、大阪府中部海域に放流することとなりました。このトラフグには天然物や他県産の放流個体と識別できるように目印（標識）を施しており、関係各県と協力して、トラフグの移動や成長、放流の効果を調査していきます。

放流したトラフグは 2 年で全長 40cm、体重 1.5kg 程度まで成長し、「大阪産（もん）」トラフグとして府内の皆様の食卓に届くことを期待しております。

※ 公益財団法人大阪府漁業振興基金栽培事業場・栽培漁業センター

記

放流種：トラフグ

放流尾数：4.0 万尾

放流サイズ：全長 70 mm（体重約 8g）

放流日時及び場所：7 月 26 日（金） 10:30 から二色の浜（貝塚市）

（次ページに写真資料）



トラフグの稚魚



トラフグ稚魚の飼育現場



平成 29 年 12 月 18 日に採捕された個体